

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
原価計算	3	3年 情報ビジネス科	選択R1	原価計算 新訂版 (実教出版)	最新反復式 原価計算問題集 (実教出版)

学習目標	1. 製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得し、原価の概念について理解する。 2. 原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を身に着ける。
主な学習内容	大量生産方式に用いる手法「総合原価計算」と原価計算他企業との競争で優位をたもつにはいかにあるべきかを計数的に分析するための手法、すなわち「原価管理」「利益計画」について考察する。特に応用的な内容について練習する。また、製造業を含む決算整理についての処理、製造原価報告書、財務諸表の作成について学ぶ。
評価の観点・基準	「関心・意欲・態度」…製造業における原価計算と工業簿記に興味、関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組む。また、提示された課題に対して主体的に取り組む態度をもっている。 「思考・判断・表現」…様々な原価計算の方法や記帳法などについて、なぜ、そのように処理をするのかなど、主体的に思考を深める。また、基礎・基本的な知識と技術を活用し、適切に判断し、表現する能力を身につけている。また、実際の報告書をもとに、自ら課題を見つけ、思考・判断し、分析結果を全体に向けて表現することができる。「技能」…製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎・基本的な技術を身につけ、原価計算から得られる情報を適切に処理することができる。また、実際のデータをもとに、自ら報告書を作成することができる。「知識・理解」…製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎・基本的な知識を身につけ、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。
評価の方法	「関心・意欲・態度」…授業で扱う課題に対する積極性や、学習内容から深く学ぼうとする態度 「思考・判断・表現」…副教材を用いた課題及び報告書に対する取組課程を評価 「技能」…副教材を用いた課題及び報告書に対する取組み課程を評価 「知識・理解」…小テストや定期考査による評価 以上を総合的に評価する。

学期	内容
1 学期	<総合原価計算応用> ・工程別総合原価計算 ・仕損、減損を伴う総合原価計算 ・副産物、作業くずを伴う総合原価計算 ○中間考査 ----- <製造業を含む決算整理> ・決算整理 ・財務諸表の作成 ○期末考査
2 学期	<標準原価計算> ・原価標準の設定 ・標準原価の計算 ・実際原価の計算 ○中間考査 ----- ・差異分析 ・標準原価計算の勘定の記帳方法(パーシャルプラン) ・損益計算書の作成 ・標準原価計算応用論点 ○期末考査
3 学期	<直接原価計算> ・損益計算書の作成(全部原価計算との比較) ・CVP分析 ・原価分解(高低点法) ・直接原価計算応用論点 ○学年末考査
備考 ・講座の特色 ・履修条件 ・注意事項 等	・全商簿記実務検定「原価計算」にまだ合格していない者は全員受験すること。 ・日商簿記2級につながる講座とする。